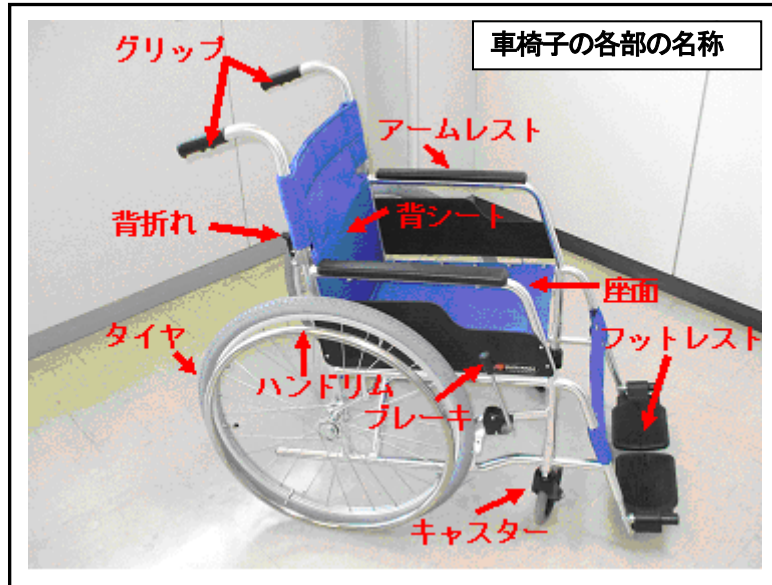


車椅子メンテナンス

①車椅子各部の名称



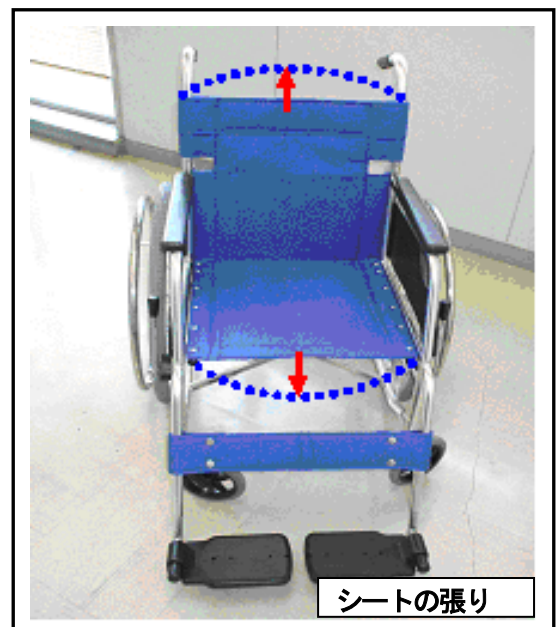
②ブレーキ



ブレーキを動かしてみて可動性を調べます。
古くなってくると錆が付着し、操作しにくくなったり、ネジが緩んでブレーキの効きが悪くなったりします。
ブレーキ周辺の汚れをこまめに拭き取り、オイルを注すことで錆は抑えられます。ネジが緩んだ場合はタイヤに空気が入っていることを確認し、ブレーキが効くところでネジをしっかり締めます。

③シート

座面と背シートの張りを確認します。
使用していない時でもシートがたわんだり、シートを押してみても張りが無い場合は張替えをお勧めします。
また、シートをとめているネジが緩んでいないかを確認します。



④フットレスト

フットレストは使用しているうちにネジが緩んできます。ネジが緩むとフットレストの向きが変わってしまう他（写真1）、高さも変わってしまいます。調整は、フットレストを折りたたんだ状態で、後下方にあるネジ（写真3）を六角レンチでゆるめ、高さや位置を調整します（写真2）。調整後はネジがしっかり締まっているか確認してください。この時、車椅子をひっくり返した状態で調整を行うと調整がしやすくなります。また、フットレストの折りたたみがスムーズにできるかの確認もします。

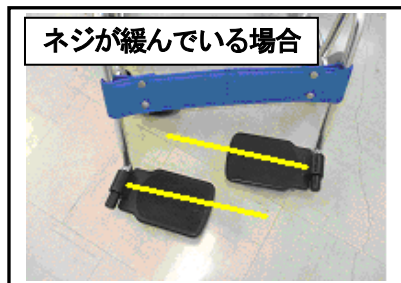


写真1

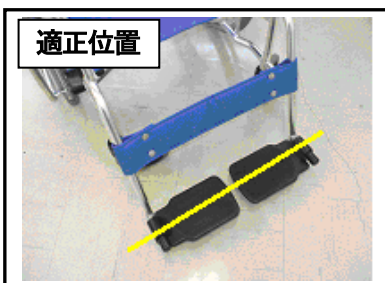
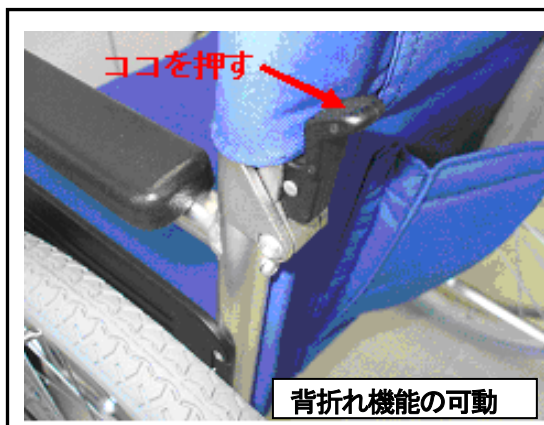


写真2

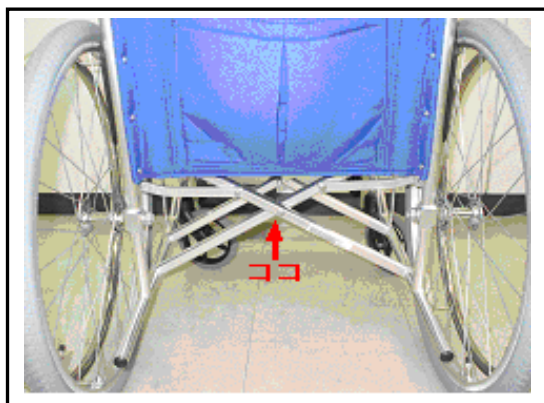


写真3

⑤折りたたみ機能



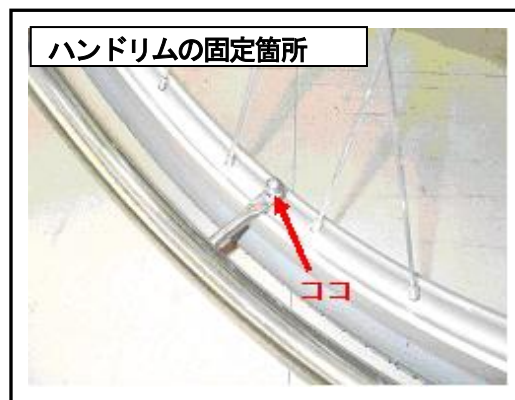
背折れ機能の場合は、レバーの部分を押して折り畳みがスムーズにできるかを確認します。



折りたたみ機能は、車椅子を折りたたんでみて、動きが悪い場合は写真の矢印の部分の汚れを拭き取り、油を注すことで動きがスムーズになります。

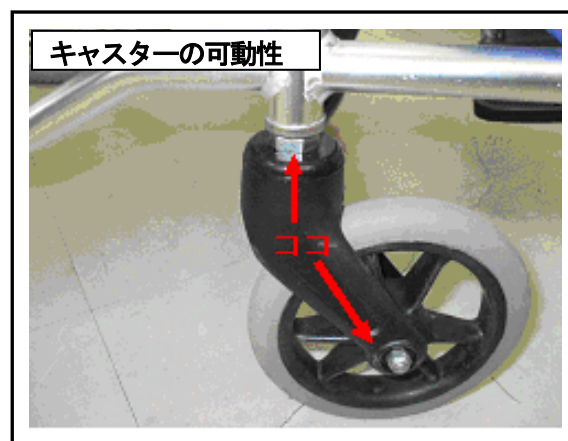
⑥タイヤとハンドリム

ハンドリムの取り付け状態を確認します。
4箇所ねじで固定されているので、緩んでいる場合は六角レンチで締めます。タイヤは空気が入っているか、割れていないかを確認します。
タイヤの空気圧はタイヤの横に書いてある数値に合わせていることが理想ですが、ほとんどの場所で圧測定器がないため、指で押して空気の入り方を確認します。



⑦キャスター

キャスターの取り付けがしっかりしているか、回転性は良好かどうかを確認します。
取り付けは車椅子本体部分と接合されているねじを六角レンチで締めます。回転性はキャスターの中心部分のネジを調整することとこまめに汚れを拭き取りオイルを注すことで回転性が保たれます。



⑧アームレスト

アームレストの取り付けにゆりみがないかを確認します。もし、緩んでいる場合はアームレストの下についてあるネジを締めます。